

第15回 日野市保育の質ガイドライン策定委員会 —要点録—

1 日時場所等

- (1) 日 時 令和7年3月11日（火）午後2時00分～午後4時00分
- (2) 場 所 日野市子ども包括支援センターみらいく3階多目的室
- (3) 出席委員 井口眞美委員長、野原久代副委員長、佐藤道枝副委員長、
根津正孝委員、上原直実委員、木暮博委員
※オブザーバー 大澤朋子氏
※ワーキンググループと同時開催により、他40名参加
- (4) 欠席委員 なし
- (5) 事務局 子ども部保育課整備調整係 飯野成路、堀口尚孝、森航太、小野早苗

2 要点録

(1) 開会

(2) 日野市子ども部保育課長より

- ・本日で令和6年度の策定委員会とワーキンググループは最後となる。
- ・策定委員会は、延べ15回、ワーキンググループは延べ7回を開催し、その成果物として、「日野市保育手帳—日野市保育の質ガイドライン（第1版）—」を作成することができた。ご尽力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。
- ・他の自治体の保育の質ガイドラインを見てみたが、各保育園からこれだけ多くの方に関わっていただいて、完成されたものは他にはない。
- ・普段あまり関わることもない他の保育園の方と交流ができたこと、他の保育園のやり方に刺激を受けることができたことは、大きな財産であったのかなと思う。
- ・今後は、このガイドラインをどう活用していくかが問われる。大切なのは普段からの「保育のふりかえり」である。とはいえ、日頃の忙しさの中で、少し気になりつつも指摘せずに済ませてしまうようなことが繰り返されるうちに、問題が深刻化するといったことになる。重要なのは、日々の保育実践において、より良い保育に向けたふりかえりが実施され、改善につながる一連の「流れ」ができていることである。
- ・今回、皆さんでつくったこの日野市保育手帳—日野市保育の質ガイドライン（第1版）—を活用し、継続的に保育のふりかえりを行うことで、日野市の全体の保育の質がこれまで以上に向上されると確信をしております。

(3) 日野市保育手帳—日野市保育の質ガイドライン（第1版）—の読み合わせ

- ・日野市保育手帳—日野市保育の質ガイドライン（第1版）—を冊子形式で配布し、内容の読み合わせ。
- ・特段意見等なし。

(4) ふりかえりシート実践

- ・各自電子版のふりかえりシートに入力を実施。
- ・回答いただいて集計したものを共有。
- ・各園でふりかえりシートを活用してみる際には、冊子に直接記入してもいいが、今後日野市のホームページにふりかえりシートのデータを載せる予定でいるため、そこからダウンロードして紙又はデータでチェックすると繰り返し振り返ることができる。

(5) 日野市保育の質ガイドラインの活用方法検討

- ・活用方法について、グループディスカッションを実施。

【意見共有（主な意見）】

- ・できるできないにとらわれず、自分たちの実態を把握するためにもチェックをし続けることが大事だと感じた。
- ・フォームを使って電子で回答を集約する方法は、見える化できてわかりやすかった。グラフ等で見える化できると課題も把握しやすく、話し合いの焦点も見えやすくなる。公立・私立ともに、グラフ化をどうやったらできるか、是非教えて欲しい。
- ・全国保育士会のチェックリストを定期的に使っているメンバーもいた。そうしたものも活用して定期的に振り返っていくことが大事。
- ・ふりかえりシートのほか、全国保育士会のチェックリストなども活用しながら、定期的にふりかえり、次の保育に繋げていくことが大事。

(6) 総括（日野市保育の質ガイドライン策定委員会委員長より）

- ・皆様にご協力いただきまして、日野市保育手帖―日野市保育の質ガイドライン（第1版）―ができあがったこと、改めて感謝申し上げる。
- ・このガイドラインを継続的に活用し、定期的に自らの保育を見直していくことが大切になる。ガイドラインにおいて、法令、条例等のところでは日野市で大切にしていることを共通理解し、事例集は自園の保育に取り入れたり、自分も事例を書いてみたりするとよい。ふりかえりシートは自らの保育を見直す視点として活用し、気づいたことや具体的な事例は記録に残すなどして本ガイドラインを活用していただければと思う。
- ・ワーキンググループに参加いただいた皆様からは、「他園の先生方と交流ができ、色々な考え方を聞くことができ、とても参考になり、有意義な時間だった。」「今後、保育について気軽に話ができる関係性ができたことをとても嬉しく思った。」などの好意的な意見がたくさん寄せられた。このガイドラインの策定の過程が保育士らで保育を語り合い自分の保育を考え直す研修の場となっていたことが嬉しく思う。
- ・今後は子どもと保育を共有していくことが求められてくる。職員間で共有していくことはもちろんのこと、保護者や子どもとも保育を共有する在り方というものをこの日野市保育の質ガイドラインの策定を経て、皆様にも考えていただきたい。そして我々も一緒に考えていきたいと思う。
- ・事例収集についてはまんべんなくお願いしたつもりだが、ふりかえりシートにおいて事例が偏っている項目（特別支援、職員間の連携）がある。ただそれがよくないということではなく、それ

が皆様の共通したお悩みや考えていることであるということ。

- ・この先、もし改訂版を作るようなことがあれば、子どもたちと一緒に作り上げていく具体的な保育内容の事例が増えていくと、さらに良いものができていくと思う。

(7) その他

- ・日野市保育手帖―日野市保育の質ガイドライン（第1版）―の冊子及び電子版は3月下旬以降に配布及び公開予定。冊子は各園に職員数プラス10部くらいで配る予定。
- ・今後は日野市保育の質ガイドラインの第2版の策定も検討しているところで、その際にはまた皆様にお力をお貸しいただければと思っている。

(8) 次年度策定委員会について

- ・令和7年度日野市保育の質ガイドライン策定委員会の主な方向性としては、令和7年3月に発行した日野市保育の質ガイドラインの運用状況の確認及び改訂版（第2版）の策定に向けた検討を行う。
- ・令和7年度のスケジュール（案）等については、別紙参照。

【意見交換（主な意見）】

- ・改訂版を発行する場合には、主に2つのパターンが考えられる。1つは、全体的に大きくは内容を変えずに事例集の事例を増やしてバージョンアップさせるというやり方。もう1つは、他の施設（認可外保育施設や幼稚園等）も含めた形で中身も見直しながら改訂版を発行するというやり方。現実的なのは前者かもしれない。
- ・改訂版を発行するにあたっては、日野市保育手帖―日野市保育の質ガイドライン（第1版）―がどこまで活用されたか、何が活用しづらかったのか等を調査、研究していかなければならない。
- ・令和7年度はガイドラインの評価に重点を置く1年度もいいかもしれない。改訂版の検討までできなくても、次に繋げる1年として。
- ・9月にアンケートを取るのだと、運用状況を確認するには少し早いかもしれない。第1期のふりかえりシートをやってみての感想としてアンケートを取るのはいいが、実際の運用状況の確認をするには職員からの生の声が聴きたい。
- ・ワーキンググループに参加いただいたメンバー（その他の方でも可）に1度お集まりいただき、運用状況などについて実際にご意見を頂戴したい。その他、幼稚園等からの意見も聞いてみたい。
- ・電子でふりかえりシートをチェックすることについて、フォームを作成して各園に共有することができるといいかもしれない。それらの電子化は今後検討していく。
- ・令和7年度の策定委員会も火曜日の14時～16時で開催。予定は、7/8に第1回委員会、9/2に第2回委員会兼ワーキンググループ、11/11に第3回委員会、1/13に第4回委員会の予定。

(9) 閉会